



# 燦さんらん 爛

## 親子で楽しいひととき PTA親子スポレク

先月から全国的に流行が拡大しているインフルエンザですが、本校にも影響が出てきており、インフルエンザの罹患や体調不良により欠席する生徒が多くなってきております。そんな中でしたが、12月5日(火)のPTAには、多くの皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。



この日の前半は親子スポーツレクリエーションとして、学年対抗ソフトバレーボールを行いました。これまでのPTAとは違った、和気あいあいとした雰囲気だったと思います。点が入っても失敗してもみんなが笑顔で楽しんでおり、とてもよいひとときでした。試合の様子を見ていると、保護者の皆さんがとても上手だったことが印象的です。基本を大切にプレーをされている方が多かったほか、互いに声を掛け合いながらボールを繋いでいく姿は、子どもたちの手本になるものだったと思います。そんな保護者の皆さんのプレーを盛り上げようと力強く声援や拍手を送る子どもたちの姿も嬉しく感じました。

後半は学年懇談を行いました。その中で、車で送迎される場合の乗降場所の変更についてもお知らせしましたが、生徒の安全面を考慮してこのようにさせていただきましたので、ご理解の上、これまで同様に生徒の安全な登下校へのご配慮とご協力をお願い申し上げます。



### PTA親子スポーツレクリエーション(学年対抗ソフトバレーボール)

総合	第1位	3年	第2位	2年	第3位	1年
MIP	生徒の部	K. Rさん(3年)	保護者の部	K. Mさん(3年Yさんの母)		

## 子どもたちと楽しく交流 3年保育園訪問

12月6日(水)、3年生が家庭科の学習の一環として、保育園での幼児との交流学习を行いました。

当初は大川西根、内小友の各保育園に、出身の生徒が分かれて伺う予定でしたが、インフルエンザの流行により大川西根

保育園への訪問ができなくなってしまったため、この日は、内小友保育園出身の生徒のみが訪問させていただきました。

内小友保育園では、それぞれが作ったおもちゃを持参し、園児たちと一緒に遊びながら楽しくふれ合っていました。園児への接し方もみんな上手で、園児たちも生徒が準備した遊びにみんな夢中でした。家庭科の西根先生によると、3年生には保育園に通う弟妹をもつ生徒もおり、今回の訪問にあたっては、幼児の発達状況や特徴を把握し、配慮した上でおもちゃ作りを工夫して



大川西根班はお手紙を書きました

いたとのことで、この体験学習のねらいを十分に達成できていたようです。



内小友保育園で園児との遊びを通じたふれ合い

一方、大川西根保育園に行く予定だった生徒は、学校で園児に宛てた手紙を書き、作ったおもちゃやその遊び方が分かる写真とともに後日届けることになりました。直接のふれ合いや交流はできず残念でしたが、気持ちは十分に伝わるものと思います。



# 大曲支援学校と様々な形で交流しました

今週は、大曲支援学校との交流の場が複数ありました。



12月6日(水)、大曲支援学校中等部1年のS.Mさんが本校を訪れ、本校1年生との交流学习を行いました。S.Mさんは大曲西根保育園の卒園で、大川西根小出身の生徒たちとは年に数回の「居住地校交流」で交流を続けてきた旧知の仲です。

## 居住地校交流

今回は、音楽の授業を通じた交流を行いました。この日の授業はハンドベルの合奏でしたが、S.Mさんは引率の先生や隣に座った本校生徒に協力してもらいながら、担当したベルをきれいな音で鳴らせるように真剣に練習に励んでいました。はじめは緊張していたようでしたが、次第に慣れてきて、笑顔が見られるようになってきました。別の班の演奏を聴くときも身体でテンポを取りながら楽しそうに聴いていましたし、最後の全員合奏では、同じ音を担当する生徒としっかり合わせて、きれいなハーモニーを奏でることができました。



今年の居住地校交流はこの1回だけですが、来年以降も交流を続けていく予定です。また楽しく交流できたらと思います。

## 居住地校交流事前授業

居住地校交流に先立つ12月1日(金)、大曲支援学校のT先生が本校を訪れ、1年生の居住地校交流に先立つ「事前授業」をしてくださいました。



今回交流するS.Mさんへの関わり方などを考えることを通して、「障害には、機能的な障害や見えにくい障害があること」や「身の回りには、みんなが気持ちよく暮らすための工夫があること」などを学ぶことができました。また、S.Mさんの様子やそのご家族の思いを動画で確認したり、誰にもある得意なことや苦手なことと同様にS.Mさんが思っている不安や心配なことをどのようにしてフォローしてあげられるかを考えたりできたようでした。



先生の授業はとても分かりやすく、生徒たちも先日の「菜の花タイム」で学んだこととも結び付けながら学び、当日の交流に生かすことができたように思います。



居住地校交流の翌日となった12月7日(木)、小学部の代表2名が本校に毎年恒例の手作りカレンダーを届けに来てくれました。

## カレンダーをいただきました

今回のカレンダーは「ゆめ 辰(たっ)ぷりファンタジー」と題し、支援学校の子どもたちがこれまでに学習した技法を取り入れながら作ったものだそうです。本校からは生徒会長が代表して受け取らせていただきました。



心のこもった素敵なカレンダーは、年明けから生徒玄関に飾らせていただきます。

## nishichu SNAPSHOT



12月1日(金)の  
体づくりは  
ロシアのフォークダンス  
「タタロチカ」